２０１４年４月　第２９号（診療科紹介号）

市立室蘭総合病院　広報誌

くじらんネット

病院の理念

おもいやりの心がかよう病院

病院の基本方針

・信頼される医療を持続的に提供します。
・自治体病院としての役割と責任を担います。
・経営の健全化と効率化に努めます。

就任ご挨拶

市立室蘭総合病院　院長　澁谷（しぶや）　均（ひとし）

本年４月1日より、東海林哲郎先生の後任として市立室蘭総合病院の院長を拝命いたしました。当院の理念「思いやりのこころがかよう病院」をより一層発展させるよう努めて参りますので宜しくお願い申し上げます。また、今春も新たに新進気鋭の医師、看護師をはじめ多くのスタッフが加わりました。あわせて宜しくお願い申しあげます。

最近の医療の実践においてはチーム医療が求められています。ＮＳＴ（栄養サポートチーム）、緩和ケアチーム、がん化学療法チーム、褥瘡チームなどが良く知られていると思います。チーム医療とは多職種の医療者がそれぞれの専門性をいかし、チームで患者さんの治療を行うことです。ここでは医師、看護師、薬剤師、栄養士をはじめ多くの職種の人たちがそれぞれの専門の立場から患者さんにとって一番良い治療法を提案し、チームで共有し患者さんのケアにあたります。医療は医師と看護師だけでは成り立ちません。チーム医療を念頭において患者さんの治療にあたることが当院の理念に沿った医療の実践につながるものと考えております。またチーム医療を実践することは風通しの良い職場の環境作りにも役立つものと期待しております。市立病院は地域センター病院として、今後もチーム医療を実践しながら患者さんに安心して医療受けて頂けるよう努力して参ります。

診療科の紹介

医局長 金戸 宏行（かねと ひろゆき）
部長[胃腸科] 清水 晴夫（しみず はるお）
副部長 佐藤 修司（さとう しゅうじ）
医　長 村上 佳世（むらかみ かよ）

医　長 飯田 智哉（いいだ ともや）
医　長 佐々木 基（ささき はじめ）
医　長 永縄由美子（ながなわ ゆみこ）
医　員 我妻 康平（わがつま こうへい）

消化器内科

胃・腸疾患、肝・胆・膵疾患、さらに血液疾患などを担当しています。日本消化器病、消化器内視鏡学会の認定施設に指定され、それぞれの専門医を中心に診療にあたっています。充実した内視鏡機器を備え、内視鏡技師を中心とした内視鏡室専属スタッフのサポートにより、最新の内視鏡検査・治療を行っています。肝・胆・膵疾患の入院治療はチーム制を導入し複数の医療従事者による診療を行っています。また外科的な治療が必要と判断される場合は、術前検査を行って外科とのカンファレンスを行い、手術を行った症例については臨床検査科（病理医）を交えて検討するなどの連携を図っています。血液悪性腫瘍に対しては無菌治療室を利用し、自家末梢血幹細胞移植治療にも取り組んでいます。

循環器内科

(1) a）急性心筋梗塞、狭心症、不整脈、心臓弁膜症などの心臓病、b）またこれら心臓病の原因になる動脈硬化をもたらす高血圧、脂質異常症（コレステロール、中性脂肪）、糖尿病、肥満などの生活習慣病（最近注目のメタボリックシンドローム）、c） さらに高血圧や糖尿病が長く続いた結果生じることが多い慢性腎臓病（腎不全）等々に対し、急性期の治療から日常生活で気をつけるべき食事や運動療法など生活習慣の改善指導まで幅広く行っています。

(2)急性心筋梗塞など急性心臓疾患では、発作発症の早期１時間以内に急激に状態が悪化する頻度が高いことが知られています。発作が改善しない時は１１９番通報し、救急車での受診を躊躇しない事が大切です。２４時間いつでも速やかに心臓カテーテル治療ができる体制を整えています。

一方、狭心症や不整脈では発作から回復すると心電図も正常に戻ってしまいます。受診時には発作がいつ、何をしている時、身体のどこに、どういう症状がおこり、何分位続いたのかなどの情報を我々医師に伝えることが大切です。

(3)腎不全（尿毒症）に対しては血液透析（人工腎臓）、腹膜透析を行っています。

部　長 福岡 将匡（ふくおか まさただ）
科　長 前田 卓人（まえだ たくと）

医　長 高田 明典（たかだ あきふみ）
顧　問 東海林哲郎（しょうじ てつろう）

主任医長 吉川 匠（よしかわ たくみ）
医　長 浅井悠一郎（あさい ゆういちろう）

呼吸器内科

肺炎、間質性肺炎（肺線維症）、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、じん肺、呼吸不全、肺腫瘍、肺癌、肺結核などの病気の診断・治療を担当しています。健康診断などで胸部Ｘ線写真に異常を発見された方の精査も行なっています。なるべく短期間で苦痛の少ない検査によって治療方針を決定するよう心掛けております。検査や治療は可能な限り外来で進めてまいります。

また最新の超音波気管支内視鏡や局所麻酔下に行なう胸腔鏡などを導入し、ハイレベルな診療を行えるよう、スタッフ一同、日々努力しております。

糖尿病内科

部　長　宮崎（みやざき）　義則（よしのり）
医　長　高田（たかだ）　明典（あきふみ）

糖尿病および内分泌専門医として、また循環器内科医として以下のことに留意し診療を行っています。

○食事・運動療法を基本とする。
○必要性のない経口薬・注射薬・インスリンを処方しない。
○効果の少ない経口薬・注射薬・インスリンを過剰に、又長期間処方しない。
○個々の患者さんの特徴・病状に合った適切な経口薬・注射薬・インスリンを処方する。
○新薬を安易に処方しない。新薬への十分な理解および考慮のもと適応となる患者さんにのみ処方する。
○厳格な血糖コントロールを目指すと共に低血糖を可能なかぎり回避する。
○糖尿病の合併症である細小血管合併症（ 網膜症・腎症・神経症 ）や大血管症（ 心筋梗塞・脳卒中・末梢動脈疾患 ）の発症・進行を早期に診断し治療を開始する。
○細小・大血管症の合併予防の為に高血圧・高コレステロール血症の治療を積極的に行う。
○内分泌疾患に伴う糖尿病・高血圧を正確に診断し治療を行う。
○血管症の他、糖尿病で頻度の多い感染症・癌・骨折の診断・治療の為に他科専門医と連携する。
○患者さんに糖尿病という病気への理解・関心を深めてもらう（ 糖尿病教室開催中 ）。

内　科

主任医長　宇野（うの）　智子（さとこ）
医　長　谷（たに）　元博（もとひろ）

当科では、感冒（いわゆる「かぜ」）、発熱、健診で異常を指摘された方、何科を受診すればよいかわからない方、健康相談を希望される方、健康問題でお悩みの方などを対象とします。どうぞお気軽にご相談ください。必要な診療科へ紹介いたします。

また、当科では人間ドックも行っております。診察や検査結果の判定は消化器内科、循環器内科、呼吸器内科など各科の担当医が行います。全科の結果をまとめた後にご来院いただいて当科医師から結果報告を行わせていただきます。

心臓血管外科

科　長　原田（はらだ）　亮（りょう）

心臓血管、下肢静脈瘤など循環器系の病気を診断、治療しております。心臓大血管手術については札幌医大心臓血管外科教授の樋上先生の執刀のもとに行っています。札幌医大と同様の質の高い医療を室蘭で行うべく万全の体制で診療を行っています。冠動脈バイパス手術については低侵襲な人工心肺を用いない心拍動下による手術、通称 Off Pump CABG を全例に例外無く行っております（全国平均では依然として６０％程度の症例しか Off Pump CABG が行われていないのが現状です）。また弁膜症についても自己弁を温存した弁形成術を基本術式とし高い成功率を得ております。特に自己弁の温存が困難とされる急性期感染性心内膜炎に対しても弁形成術を積極的に取り入れ、従来よりもさらに高い救命率を得ることに成功しています。下肢静脈瘤については小さな切開のみで行う Stab avulsion technique を用いて傷痕の目立たない手術を行っています。その他末梢血管についての治療も行っております。下肢の冷感、痺れ、血管が目立つなどの症状がありましたら気軽に受診して頂きたいと思います。

呼吸器外科

部　長　髙橋（たかはし）　典之（のりゆき）

昨年１０月より西胆振地区初めての呼吸器外科として開設しました。 主たる診療内容は胸部に関する外科治療一般です。全世界的に増加傾向にある肺癌、若年者から高齢者に見られる自然気胸、切除以外に確定診断が難しい縦隔腫瘍、肺結核や非結核性抗酸菌症（NTM）など感染症の外科切除、気管・気管支腫瘍、および胸部外傷など診療内容は多彩です。

お気軽にご受診ください。

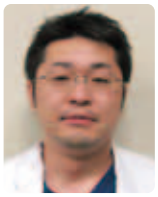
外　科

食道から肛門までの消化器全般と甲状腺、乳腺を扱っています。外科学会、消化器外科学会、大腸肛門病学会の指定施設、乳癌学会の関連施設になっています。消化器疾患では、腹腔鏡下の手術を積極的に取り入れ、胃全摘術、直腸切断術も鏡視下で可能となっています。また乳癌ではできる限り乳房を温存する手術を行っています。腋窩リンパ節転移の有無を知るため小型ガンマ線検出装置を用い、無駄に腋窩リンパ節郭清をしない工夫をしています。この術式は術後の浮腫や腋窩の違和感を防ぐことができ、患者さんにとって有用な術式です。

また、最近のトピックスとして、痔核に対しジオン注射療法を行っています。この方法はジオンと呼ばれる注射液を痔核に注射することで痔核を硬化（かためる）させる方法で手術と違い術後の痛みは殆どありません。一泊入院で帰れますので患者さんにとっては非常に有益です。是非ご相談下さい。

院　長
澁谷（しぶや）　均（ひとし）

副部長
佐々木賢一（ささきけんいち）



科　長
齋藤（さいとう）　慶太（けいた）

科　長
奥谷（おくや）　浩一（こういち）

医　長
内山（うちやま）　素伸（もとのぶ）

整形外科

専門領域としては、脊椎・肩関節・膝関節およびスポーツ専門の診療を行っています。中でも脊椎の外科に関しては、脊椎・脊髄病の専門医（日本整形外科学会認定）である阿部医師により、ほぼ全ての疾患／手術に対応して積極的に治療を行っています。その他股関節・足関節・足・肘・手の外科もカバーしています。高エネルギー外傷を含む外傷一般、リウマチ、小児整形にも積極的に対応・治療を行っています。

鏡視下の手術に関しては、肩・肘・手・（股）・膝・足の各関節の手術・治療を行っています。肩の腱板断裂や反復性脱臼に対する鏡視下手術、膝の前十字靭帯損傷に対する再建手術などを日常的に行っています。

人工関節の手術に関しては、肩・肘・指・股・膝・足趾に対して行っています。特に膝に関しては、毎月第２・４水曜日に亀田医師による人工膝の専門外来を開設し、治療を行ってています。

また、毎月第３火曜日に元コンサドーレ札幌のチームドクターをしていた中野先生によるスポーツ専門外来も、引き続き開設し診療を行っています。

院長補佐
石川（いしかわ）　一郎（いちろう）

科　長
阿部（あべ）　恭久（やすひさ）

医　長
井畑（いばた）　朝紀（ともの り）

医　長
早川（はやかわ）　光（ひかる）

医　員
塚本（つかもと）　有彦（ありひこ）

脳神経外科

脳神経外科では、脳卒中診療（脳梗塞超急性期治療であるｔ－ＰＡ静注療法に２４時間体制で対応）をはじめ、交通事故・不慮の事故などによる頭部外傷や脊髄損傷、さらには脊髄・脊髄疾患（頸椎症・頸椎椎間板ヘルニア・頸椎後縦靱帯骨化症・腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症・腰椎すべり症、脊髄脊椎腫瘍など）の診断治療、その他の末梢神経の外科に積極的に取り組んでいます。ＭＲＩ（磁気共鳴断層装置）、ＣＴ（コンピューター断層撮影装置）、ＤＳＡ（血管Ｘ線撮影装置）など、最新の医療機器により脳、脊髄の診断を行い、特に脳卒中の予防に力を入れています。近年、治療可能な認知症といわれる特発性正常圧水頭症に対しても、積極的に鑑別診断、治療を行っています。「手足のしびれや痛み」はよく感じる症状ですが、その原因として、脳疾患、脊椎脊髄疾患や末梢神経疾患があります。すなわち、神経系全体にわたる原因が考えられます。このため脳神経外科では、神経系全体（脳から手足の先端まで）を診察、検査してその原因を診断、治療する目的で『脳神経外科－しびれ・痛み外来』を設けました。手足のしびれ、痛みでお悩みの方は、一度脳神経外科を受診されることをおすすめします。

部　長
大山（おおやま）　浩史（ひろし）

部長［脊椎･脊髄担当］
小浜（こはま）　郁秀（いくひで）

産婦人科

科　長　荻野（おぎの）　元子（もとこ）
科　長　太田（おおた）　雄子（ゆうこ）

現在産婦人科では婦人科の外来診療のみを行っています。

子宮筋腫や卵巣のう腫などの経過観察、子宮がん検診、妊娠の判断、月経不順や更年期障害の治療、性感染症など、一般的な外来診療は従来通りに行っています。生理の異常、おりものの異常、不正出血、下腹部痛などの症状がなくても婦人科の病気がかくれていることがあります。子宮頸がんはがん検診を受けていただくことで早期発見・早期治療できる病気です。初期のがんであれば子宮を温存し妊娠出産することも可能です。２０歳以上の方は特に症状がなくても２年に１回は子宮がん検診を受診されることをお勧めします。また、トマト外来では生理トラブルや避妊の相談も承っています。

分娩を希望される妊婦さんや入院・手術が必要な患者さんについては日鋼記念病院や製鉄記念室蘭病院等と提携しておりますので、責任を持ってご紹介させていただきます。

診療日は水曜と木曜の午前中です。前日までに電話などでご予約ください。

眼　科

白内障や緑内障、網膜硝子体疾患をはじめとする眼科疾患全般について診療しています。平成２３年度より常勤医が増員となり３人体制となりました。また、札幌医科大学付属病院との迅速な診療連携を行っており眼科専門外来の医師（教授、准教授）による網膜硝子体、緑内障、神経眼科領域疾患の専門特殊外来も設けています。

科　長　伊藤（いとう）　洋樹（ひろき）
医　長　伊藤（いとう）　格（かく）
医　長　神原（かみはら）　啓輔（けいすけ）

皮膚科

水虫、湿疹、アトピー性皮膚炎、ニキビといった一般的疾患を主に診療しています。

診療日は水曜日と木曜日の午前中です。必ずご予約ください。

医　長　宇津（うつ）　桃子（ももこ）

小児科

毎月第３金曜日午前中、子どもの心の悩み、不登校等を対象とした診療を行っています。診療の際は十分にお話をうかがいたいと思います。
必ずご予約ください。

診療部長　設楽（したら）　雅代（まさよ）

耳鼻いんこう科

すべての耳鼻いんこう科疾患の診断と治療に対応しており、特に朝倉院長補佐は再建を含めた頭頸部外科のスペシャリストで、アレルギー学会指導医です。

本間副部長は聴覚前庭領域、病巣性扁桃炎に関する幅広い知識と経験を有しています。

院長補佐　朝倉（あさくら）　光司（こうじ）
副部長　本間（ほんま）　朝（とも）

形成外科

熱傷、顔面外傷、皮膚腫瘍、陥入爪、腋臭症、悪性腫瘍切除後の皮膚欠損や変形、褥瘡や難治性潰瘍など、形成外科領域全般を扱っています。また、レーザー治療も行っており、異所性蒙古斑、扁平母斑、太田母斑、外傷性刺青などは保険診療で、老人性色素斑などのしみ、刺青に対しては保険外診療で行っています。血管腫へのレーザー治療は機器の老朽化により行えなくなりました（更新は未定）。治療を中断されている方へは他施設への紹介状を作成しますので、ご相談ください。さらに月に一度、札幌医科大学の四ッ柳高敏教授による専門外来を設けており、唇裂、口蓋裂、小耳症などの体表先天異常を中心に診察、治療を行っています。また、最近は眼瞼下垂症に対する手術も増加し、力を入れて行っています。

主任医長　中川（なかがわ）　嗣文（つぐふみ）
医　長　鈴木（すずき）　明世（あきよ）

泌尿器科

腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎、尿道炎、性感染症、腎・尿管・膀胱の結石、腎・尿管・膀胱・前立腺・精巣の癌、前立腺肥大症、神経因性膀胱、尿失禁、男性不妊症、勃起不全などの疾患を主に扱っています。尿が出づらい、尿がもれる、尿をする時に痛みがある、尿が近いなどの症状がありましたら受診してください。

副院長
宮尾（みやお）　則臣（のりおみ）

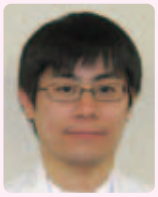
副部長
加藤（かとう）　隆一（りゅういち）

科　長
竹内（たけうち）　基（もとい）

精神科

精神科の外来は午前中３診体制で、統合失調症やうつ病、不安障害、認知症などの精神疾患全般に対する診療を行っています。一般病棟へ入院中に、精神的な不調を来した患者さんの診察も行います。精神科の入院はベッド数が開放５７、閉鎖５８（合計１１５）床で、特に総合病院の精神科として、精神科救急医療や身体合併症をもつ精神疾患患者さんの治療に積極的に取り組んでいます。また一方で、看護師・臨床心理士・作業療法士・精神保健福祉士などとチームを組んで、デイケア・作業療法・訪問看護などの精神科リハビリテーションを積極的に展開し、患者さんの社会復帰の促進にも力を入れています。

科　長
三上（みかみ）　敦大（のぶひろ）



医　長
三宅（みやけ）　高文（たかふみ）

医　長
伊東（いとう）あかね

医　長
古髙（ふるたか）　陽一（よういち）

医　員
小原（おばら）　絵夢（えむ）

麻酔科（ペインクリニック）外来

患者さんの痛みや・しびれの症状をペインクリニック（麻酔科）、脳神経外科、神経内科の医師グループによって総合的に診察し、それぞれの専門医が治療にあたるという全国でもまれなチーム医療を実践する痛み・しびれの総合外来です。治療はそれぞれの分野の専門医・学会認定医が行います。

診療部長
今（こん）　久子（ひさこ）

事業管理者
土肥（どひ）　修司（しゅうじ）

麻酔科

「安全な麻酔」をモットーに年間2,000例以上の麻酔管理を手術室で行っています。さらに集中治療室（ICU）や救急診察室では重症患者さんの治療に参加しているほか、地域の消防と協力しながら24時間体制でドクターカーを運用しています。

部　長
下舘（しもだて）　勇樹（ゆうき）

集中治療室担当部長
西川（にしかわ）　幸喜（こうき）

医　長
戸ノ崎（とのざき）拓哉（たくや）

医　長
伊藤（いとう）　知哉（ともや）

医　長
表（おもて）　雅仁（まさひと）

放射線科

放射線治療はＣＴで正確な位置決めを行い、断層画像ごとに線量計算します。放射線治療装置はＸ線が２つ、電子線が５つの計７種類の放射線を出すことができます。病巣の深さに対して最適な放射線を選ぶことで副作用の少ない治療ができます。画像診断は放射線科専門医がＣＴ、ＭＲＩ、核医学と幅広く行っています。

部　長
志藤（しどう）　光男（みつお）

画像診断担当部長
吉田（よしだ）　悟（さとる）

リハビリテーション科

リハビリテーションは、理学療法士（ＰＴ）１６名・作業療法士（ＯＴ）７名・言語聴覚士（ＳＴ）４名と胆振地区としては充実したスタッフ数で、患者さんにリハビリテーションを提供しています。

ＰＴは起きる・座る・歩くなどの基本動作訓練を主に行います。ＯＴは食事動作・更衣動作・トイレ動作など、日常生活動作訓練を主に行います。ＳＴは摂食・嚥下訓練や失語症などの患者さんに対して訓練を行います。

私たちは医師・看護師・ソーシャルワーカーなどの他職種とも連携を図り、患者さんの状態に合わせてチームとして患者さんの社会復帰に向けたサポートを提供していきます。

合い言葉は、笑顔と元気！

院長補佐
石川（いしかわ）　一郎（いちろう）

臨床検査科

血液・尿・喀痰・体腔液・組織などを検査する検体検査部門と、心電図・脳波・超音波検査などを行う生体検査部門があります。また、外来採血業務の一部も担当しています。

緊急検査、診療前検査、時間外緊急検査にも対応し、人間ドックや検診、そして生活習慣病の診断も支えます。また安全な手術を行うための重要な役割も担っています。

病気の原因をさぐる事、治療の方向を決める事、経過観察などの一助となり、質の高い検査結果を導き出す為、専門性の高い知識を得る様努力しています。

病理専門医が常勤し、病理組織診断や手術中迅速病理診断、更には細胞学的診断にも対応しています。又、当科には臨床検査技師、臨床工学技士、視能訓練士が所属し院内感染対策や栄養サポートなどのチームの一員としても活動しています。

副院長
今（こん）　信一郎（しんいちろう）

科　長
小西（こにし）　康宏（やすひろ）

市立室蘭みなと診療所

診療所長
佐久間司郎（さくましろう）

みなと診療所は平成２３年２月１４日より海岸町に室蘭市立の診療所として開院し、４年目に入ります。

ＣＴ装置を備え総合的に内科診療を行っており、必要に応じて近隣の医療機関での検査、各診療科への診察を依頼し連携をはかっています。

一般健診、企業健診、船員健診、予防接種なども行っており、スタッフ一同地域の皆様の健康管理にも取り組んでいます。

主に進学・就職・旅行等に必要な一般健康診断と胃がん検診、大腸がん検診（クーポン券利用を含む）、肝炎ウイルス検診（クーポン券利用を含む）、肺がん検診、前立線がん検診、特定健康診査については、市立室蘭総合病院に代わり受付、実施していますので、お気軽にお問い合わせください。

〒051-0022
室蘭市海岸町1-103
TEL 0143-23-3710

診療時間
月～金曜日:　9:00～11:30
　　13:00～16:00

休診日:土曜日･日曜日･祝祭日

最新型マンモグラフィー導入

4月よりマンモグラフィー（デジタル式乳房X線撮影装置）を更新し稼働開始しました。

今回更新したGE社のセノグラフ·エッセンシャルという装置は、従来のものより撮影、画像処理にかかる時間が短縮され、より高精度な画像が得られます。さらに、「トモシンセシス」という最新の撮影技術も搭載しています。トモシンセシスとは1回の撮影で検査部位に異なる角度でX線を連続パルス照射し、撮影後コンピュータによって画像を再構成することで任意の複数断層画像を一度に得る技術です。この撮影を追加することで、これまで困難であった乳腺の重なりを解消し、より精度の高い情報を得ることができます。この技術はGE社では道内初の導入となりました。

また、今回の更新に伴いピンクを基調とした温かみのあるマンモグラフィ専用の撮影室を新設し、より女性にやさしい空間を実現しました。

患者・家族の皆様の権利とお願い

医療は、患者の皆様と医療従事者との相互の信頼と協力とによって実践されます。　両者は、単なる契約関係やパターナリズム（親権主義）にあるのではなく，お互いの信頼感に支えられている「良いパートナーの関係」にあることが最も望ましいと考えております。　この考えのもとに市立室蘭総合病院は、患者の皆様の権利と意思とを尊重して、患者・家族の皆様も一緒に治療に参加できるような最善の医療の提供に努めております。

患者の皆様の権利と責務

皆様の権利

1．ご自身にとっての最善の医療を受けることができます。
2．ご自身の病気の診断・病状・治療方針などについて、分かりやすい言葉や方法での納得できる説明と的確な情報を受けることができます。
3．ご自身（あるいは家族）の意思で治療方法が選択し決定できますし、また他の病院の意見を求めることも、臨床研究中の新しい治療に関する情報の提供を受け、これに参加することもできます。
4．ご自身のプライバシーが守られ、診療明細書の提示や自身の診療記録の開示を求めることも、また知りたくない情報を拒否することもできます。

皆様の責務

5．ご自身の人格・人生観・価値観・宗教観・趣味趣向などは尊重されますが、診療・治療上の必要な指示や助言はお守りください。
6．通院・入院中は院内規則を守り、迷惑行為を慎んでください。
7．受けた医療に対しての医療費（自己負担分）は必ずお支払ください。（責務を守って頂けない場合は、当院での医療提供が継続できないこともあります。）

市立室蘭総合病院　広報委員会

〒051-8512
室蘭市山手町3丁目8番1号
事務局総務課
TEL (0143) 25-3111 FAX (0143) 22-6867
http://www.city.muroran.lg.jp/main/org8400/